

雪わり草

安曇野赤十字病院広報誌



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

2024 68号

Contents

- 01 院長あいさつ
- 02 狭心症・急性心筋梗塞について
- 03 狭心症・急性心筋梗塞について
- 04 # 7119 をご存じですか？
トピックス



表題（愛称）雪わり草

冬の厳しさに耐え
春の訪れを告げるように
雪を割って可憐な花を
咲かせる雪わり草。
この小さな花の希望を持って
逆境に耐え抜く力強さを
紙面に載せ、地域の皆さまへ
お届けしたく
「雪わり草」と名付けました。
花言葉：忍耐・信頼・はにかみやなど

写真解説

冬の使者コハクチョウ ～力強さと優雅さ～

4000 キロもの遠距離を飛び越え、シベリアから越冬地として安曇野遊水池に飛来したコハクチョウ。大きな羽根を美しく弧を描くつがいの姿は、寒さにも負けないコハクチョウの力強さと優雅さが魅力的に描写されており、まさにその瞬間を捉えた作品です。



新年のご挨拶



院長 木下 修

新年あけましておめでとうございます。

昨年の地域医療構想調整会議において、当院は紹介患者重点医療機関の指定を受けました。国は、かかりつけ医と病院の役割分担と連携強化を進めています。かかりつけ医と病院、かかりつけ薬局、デイサービスや介護施設、訪問看護ステーションなど、患者さんに関わる地域の人々が、内服薬や食事、運動などの日常生活上の注意点などの情報を共有し、患者さんをチームで支えてゆく仕組みが地域医療連携パスです。今年は甲辰年、連携推進の年です。当院では、地域医療連携課が、地域のかかりつけ医や医療機関との窓口となって対応します。患者相談窓口も設置していますのでご利用ください。

今年もよろしくお願ひします。

狭心症・急性心筋梗塞について



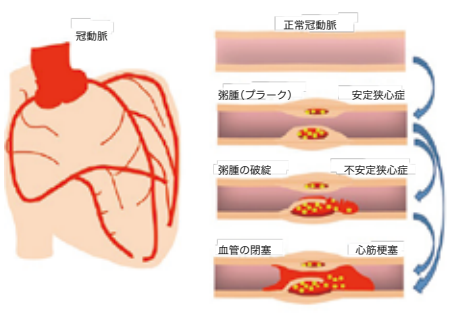
循環器内科 副部長/血管内治療センター長 永江 歩

はじめに

少子高齢化が進む中で、緊急性のある循環器疾患（心筋梗塞・心不全）の患者さんの数は増え続けています。当院は2023年5月に血管内治療センターを開設し、365日24時間、緊急性のある循環器疾患に対応できる体制の整備を致しました。救急部医師と連携し、迅速に診断から治療までのプロセスを進めてまいります。「安曇野市の循環器疾患は安曇野市で完結する」を目標に頑張っています。

●疾患概念・症状

心臓に酸素と栄養を送る血管（冠動脈）が動脈硬化によって狭窄、閉塞することによって起こります。症状は、運動時を中心とした胸痛です。しかし、人によって症状は様々で、悪化してくると安静時にも症状が出てくる場合があります。



(図1) 狭心症・心筋梗塞



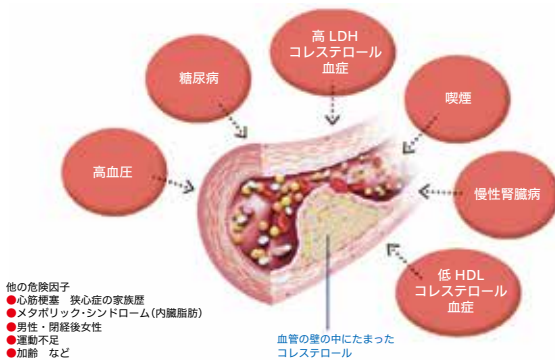
(図2) 症状はさまざま

●動脈硬化・リスクについて

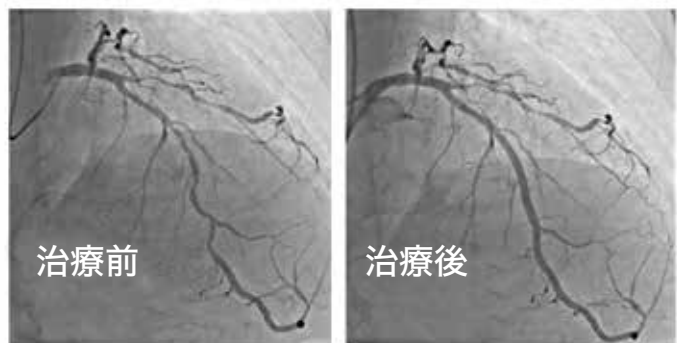
動脈硬化は、高血圧症、糖尿病、喫煙などにより血管に傷がつき、そこにコレステロールが蓄積することによって起こると言われています。

●カテーテル治療について

いわゆる“切らない手術”である心臓カテーテル治療により、狭くなった・閉塞した血管の治療を致します。一般的には、病変をバルーンで拡張し、ステントにて補強する治療です。



(図3) 動脈硬化のリスク



(図4) カテーテル治療前後

患者さんには許可を頂いて掲載しています

あなたの異常ないと言われたその胸痛、 もしかすると微小循環障害かもしれません

●^{かんれんしゆくせい}冠攣縮性狭心症について

狭心症の原因として、動脈硬化以外に血管痙攣がかかわる冠攣縮性狭心症（異型狭心症）という疾患があります。

●微小循環障害について

また、近年冠攣縮性狭心症に加え、微小循環障害という概念が唱えられるようになりました。目に見えない小さな血管レベルの血流障害（微小循環障害）が、胸痛の原因となっている可能性が指摘されたのです。つまり、今まで胸痛があったものの検査で「異常なし」と言われた患者さんの中に、一定数微小循環障害をお持ちの方がいらっしゃる可能性があります。

●当院での取り組み

当院では、冠攣縮性狭心症、微小循環障害の詳細な検査のために、最新の機器（CoroFlow/PressureWire™ X：Abbott）を導入し、カテーテル検査での診断ができるようになりました。これまでの検査で血管に異常を認めなかったために心臓が原因ではないと言われた患者さんの原因不明となっていた胸痛診断の新たな助けになることが強く期待されています。

●入院検査が必要です

検査内容は、通常的心臓カテーテル検査と同様です。胸の症状がある患者さんに対して、動脈硬化による狭心症のチェックとともに、上記の冠攣縮性狭心症、微小循環障害の検査を行うことが可能です。最短一泊二日の入院が必要となり、局所麻酔のみでできる検査です。

受診のご案内

胸痛、胸の違和感などでお困りの患者さん、他院で異常ないと言われた患者さん、いつでもご相談ください。直接受診いただいても、かかりつけの先生からご紹介いただいても結構です。

動脈硬化、血管痙攣、微小循環障害、様々な観点から、心臓疾患の精査をさせていただきます。



カテーテルチーム



カテーテル治療風景

#7119をご存じですか？

(長野県救急安心センター)

救急科 森下 美緒

ご自身や家族が急な病気や怪我をしてしまった時、病院を受診するかどうか、救急車を呼ぶべきかどうか、迷われることがあるでしょう。

その様な際に看護師などの医学的知識を持った相談員が電話でアドバイスするシステム『救急安心センター』が2023年10月から長野県でも始まりました。このシステムは皆さんの不安な気持ちに寄り添うことの他にも、重症者の方がいち早く病院受診できるようにすること、更に救急車の適正利用を促すことを目的としています。

平日は19時から翌8時まで、土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は8時から翌8時まで受け付けており、365日対応可能となっておりますので、是非ご利用下さい。



トピックス

能登半島地震の被災地へ災害医療 コーディネートチームを派遣しました

1月1日に発生した能登半島地震の被災者を支援するため、石川県に災害医療コーディネートチーム4名(医師1、看護師1、事務2)を派遣しました。

チームは4日に石川県に入り、5日～8日公立能登総合病院に設置された活動拠点本部で災害救護活動の調整業務を行いました。この度の地震による災害は大規模なものとなり、引き続き救護班を派遣する準備を進めてまいります。



新年明けましておめでとうございます。本年も「雪わり草」をご一読いただき、誠にありがとうございます。新しい年は、思いも知らぬ痛ましい災害からの幕開けとなりました。元旦に発生した能登半島地震では多くの方が被災され、心よりお見舞いを申し上げます。

当院では、赤十字の使命でもある災害救護活動のため、被災地へ職員を派遣するとともに、被災者支援のための義援金の受付を開始しております。皆さまの温かいご支援をお待ちしております。

最後に、当院では患者さんにとってお役に立つ特集や最新医療の情報提供を心掛けておりますので、よろしくお願いいたします。

編集後記